

IR資料

-2026年3月期 第1四半期-

2025年8月8日

ニプロ株式会社

為替レート / 為替感応度 / 製品分類表

<期中平均レート>

	FY2024				FY2025				計画
	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	1月-3月	1月-6月	1月-9月	1月-12月	
¥/USD	149.88	154.06	151.59	152.24	151.21	-	-	-	139.00
¥/EUR	162.15	166.12	164.61	164.36	159.35	-	-	-	158.00
¥/CNY	20.74	21.25	21.05	21.12	20.75	-	-	-	20.00

<期末日レート>

	FY2024 3月末	FY2024 6月末	FY2025 3月末	FY2025 6月末
¥/USD	151.41	161.07	149.52	144.81
¥/EUR	163.24	172.33	162.08	169.66
¥/CNY	20.83	22.04	20.59	20.19

<1円変動による年間影響額>

単位：億円	売上高	営業利益
¥/USD	10.2	0.5
¥/EUR	6.0	2.5
¥/CNY	18.3	9.0

<製品分類表>

医療機器区分	
ダイアライザ	ダイアライザ（人工腎臓透析器）、HDFフィルター
透析機器	透析システム、メンテナンス、透析機器部品
その他透析関連	血液回路、AVFニードル（翼付留置針） 他
注射針類	PSVニードル（翼付留置針）、セーフタッチニードル 他
バスキュラー関連製品	循環器治療用カテーテルセット、血栓吸引カテーテル 他
輸液関連製品	輸液セット、IVカメラ 他
検査製品	ネオチューブ 他
糖尿病関連製品	インスリン針、血糖測定器（海外向け）、ランセット
SD関連製品	補助人工心臓、人工肺
その他	医療器械、血液関連製品、培養商品、手袋 他

医薬品区分	
経口剤	経口剤
注射剤・輸液	シリンジキット、バイアル製剤、PLW、粉末透析剤、透析液 他
外用剤・貼付剤	外用剤、貼付剤
その他・体外診断薬 等	診断薬、医薬品、血糖測定器 他
ファーマパッケージング区分	
ガラス管関連	医薬用ガラス管、非医療用ガラス管
ガラス アンプル	アンプル（シングルチップ、ダブルチップ）
ガラス バイアル	バイアル（ブローバック、スクリュウ等）
ガラス シリンジ	シリンジ（ルアーロック、ルアースリッパ、滅菌済等）
ゴム栓・栓体類	ゴム栓、栓体、栓・キャップ類
プラスチック容器	プラスチック品
魔法瓶	魔法瓶用ガラス
その他	ガラス容器その他、特殊ガラス容器、ガラス カートリッジ、その他など

事業の概況..... 4

2025年度1Q 業績..... 5

販売費および一般管理費 主要科目..... 6

研究開発費..... 7

設備投資額・減価償却費..... 8

為替影響を除いた損益比較..... 9

セグメント売上高・セグメント利益.....10

①医療関連セグメント（国内）売上高.....11

①医療関連セグメント（国際）売上高.....12

②医薬関連セグメント 売上高.....13

③ファーマパッケージングセグメント 売上高.....14

セグメント別・製品群別の売上高.....15

セグメント別・地域別の売上高.....16

製品別売上高.....17,18

事業の概況

製造

2025年度のダイアライザライン(秋田大館)の新設は下記。
秋田大館工場においては2025年4月に11ライン目が新規稼働開始、2025年8月にFBダイアライザの7ライン目が新規稼働を予定しています。

2025												2026			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1~3	4~6	7~9	10~12
			大館工場 ダイアライザ 11ライン目 新規稼働				大館工場 FBダイアライザ 7ライン目 新規稼働						ベトナム ダイアライザ 1ライン目 新規稼働予定		ベトナム ダイアライザ 2ライン目 新規稼働予定

販売

- 透析用医療機器

国内は、前年対比で横ばい。
海外は、アジアが前年対比で横ばいとなったものの、米州ではダイアライザ、透析装置の安定的な受注継続により増加、欧州ではダイアライザの需要増加、中国ではダイアライザの需要回復により増加。
- バスキュラー関連製品

国内は、薬剤溶出バルーンの適応拡大により販売が回復し増加、また昨年度より本格発売を開始したバルーンカテーテルの好調により増加。
海外は、欧州で販売が堅調に推移。
- 自社医薬品

経口剤は選定療養で数量増加も薬価下落の影響により減少、外用剤・貼付剤は供給量が減少したことを受け減少。
注射剤は出荷が好調に推移したことにより増加。
- 受託医薬品

GE品は受託終了品等あるものの主力抗がん剤の受注増により増加、先発品・長期収載品は選定療養の影響で受注減している品目もあるものの、既存品目の価格転嫁や新規受託品の納入開始により増加となった。
- ファーマパッケージング

国内は輸液関連製品・ガラス管などの受注増も、米国でバイアル・ガラス管、欧州で滅菌済シリンジの数量減となり、全体としては減少。

2025年度1Q 業績

単位:億円	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想	四半期別業績推移				
					2024年度				2025年度
					1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	1,519.8	1,592.2	+72.3 +4.8%	6,770.0	1,519.8	1,600.3	1,672.6	1,653.0	1,592.2
売上原価	1,064.8	1,090.6	+25.7 +2.4%	4,710.0	1,064.8	1,111.8	1,158.8	1,201.4	1,090.6
売上総利益 (※1)	459.0 30.2%	501.5 31.5%	+42.5 +9.3%	2,060.0 30.4%	459.0 30.2%	484.3 30.3%	513.8 30.7%	451.6 27.3%	501.5 31.5%
販売管理費	401.1 26.4%	429.4 27.0%	+28.2 +7.0%	1,690.0 25.0%	401.1 26.4%	407.6 25.5%	426.3 25.5%	407.6 24.7%	429.4 27.0%
営業利益	57.8 3.8%	72.1 4.5%	+14.2 +24.6%	370.0 5.5%	57.8 3.8%	76.7 4.8%	87.4 5.2%	43.9 2.7%	72.1 4.5%
経常利益 (※2)	64.2 4.2%	35.1 2.2%	▲29.0 ▲45.2%	242.0 3.6%	64.2 4.2%	▲19.2 ▲1.2%	95.1 5.7%	▲31.9 ▲1.9%	35.1 2.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	26.2 1.7%	32.7 2.1%	+6.4 +24.5%	129.5 1.9%	26.2 1.7%	▲24.9 ▲1.6%	64.6 3.9%	▲14.8 ▲0.9%	32.7 2.1%

(※1) 売上総利益への
未実現利益の影響額

2024年度1Q	▲4.0億円
2025年度1Q	▲9.2億円

(※2) 為替損益

2024年度1Q	+30.7億円
2025年度1Q	▲13.0億円

売上高 | 海外医療関連事業において、ダイアライザの販売が米州、欧州、中国にて好調。
またB2B事業において、インスリン針やダイアライザの販売増加もあり、前年対比72.3億円増加。

売上総利益 | 労務費が増加したものの、原材料費の上昇が抑制されたことにより、前年対比で42.5億円増加。

営業利益 | 国内外で人件費が増加したほか、北中南米・欧州における運賃の増加したことにより販売管理費は増加したものの、販売増に加え、売上原価（原材料費）の上昇を抑制できた影響が大きく、前年対比で14.2億円増加。

経常利益 | 前年度は為替差益が30.7億円計上されていたものの、今年度は為替差損を13.0億円計上したため、差し引き43.7億円利益が悪化し、前年対比で29.0億円減少。

当期純利益 | 再生医療事業の研究・製造拠点（東京CPF※）の土地譲渡（施設は賃貸借契約により継続使用、操業に変更なし）により、41.4億円の固定資産売却益を計上し、前年対比で6.4億円増加。 ※CPF：Cell Processing Facility（細胞培養施設）



販売費および一般管理費 主要科目

単位:億円	2024年度 1Q	2025年度 1Q		増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
		実績	構成比		
人件費	129.6	142.3	33.2%	+12.7 +9.9%	565.3 25.2%
研究開発費 (※1)	51.4	54.6	12.7%	+3.1 +6.2%	208.2 26.2%
運送費	35.4	41.2	9.6%	+5.7 +16.2%	176.9 23.3%
償却費 (※2)	37.2	36.0	8.4%	▲1.1 ▲3.2%	155.1 23.2%
支払手数料 (※3)	23.6	25.9	6.0%	+2.3 +9.8%	109.7 23.6%
販促費 (※4)	24.8	24.9	5.8%	+0.0 +0.1%	84.1 29.6%
旅費交通費	10.9	12.5	2.9%	+1.5 +14.3%	51.3 24.4%
保管料	9.5	10.0	2.3%	+0.5 +6.1%	39.0 25.8%
上記以外の科目	78.4	81.7	19.0%	+3.2 +4.2%	300.4 27.2%
合計	401.1	429.4	100.0%	+28.2 +7.0%	1,690.0 25.4%

(※1) 研究開発費・試験研究費・開発償却費
(※2) 減価償却費・のれん償却費
(※3) 支払手数料・顧問料
(※4) 販売手数料・見本品費・広告宣伝費・交際接待費

人件費 | 国内外で従業員の増加やベースアップ等により、前年対比で12.7億円増加。

運送費 | 北中南米・欧州における海外運賃の増加により、前年対比で5.7億円増加。

上記以外の科目 | 東京CPFの土地譲渡により、非課税売上が増加した影響を受け、租税公課の科目において、前年同期比で8.3億円増加（前年度5.2億円、今年度13.5億円）。

研究開発費

	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位:億円				
医療 (※1)	33.0	36.1	+3.1 +9.6%	151.7 23.9%
医薬 (※1)	24.1	24.9	+0.7 +3.2%	91.1 27.4%
ファーマ パッケージング (※1)	1.4	1.2	▲0.1 ▲13.0%	7.2 17.3%
合計 (※2)	58.6	62.4	+3.7 +6.4%	250.0 25.0%

(※1) 今年度より会計基準における研究開発費の定義に基づき集計方法を改めたため、前年度の数値も修正しています。
(※2) 製造原価および販売管理費における研究開発費製造原価

- 医療 | 委託開発費やバスキュラーの製品開発・治験等により、前年対比で3.1億円増加。
- 医薬 | 委託研究費が減少したものの、研究に係る人件費や円安・インフレによる原材料仕入の増加により、前年対比で0.7億円増加。
- ファーマパッケージング | 前年対比でほぼ横ばい。

設備投資額・減価償却費

	設備投資額				減価償却費			
	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円								
医療関連	126.6	64.0	▲62.5 ▲49.4%	336.2 19.1%	81.2	88.7	+7.5 +9.3%	388.0 22.9%
医薬関連	62.5	29.5	▲33.0 ▲52.8%	257.2 11.5%	37.0	34.0	▲3.0 ▲8.1%	143.9 23.7%
ファーマパッケージング	20.2	11.3	▲8.9 ▲44.0%	62.2 18.3%	17.8	14.6	▲3.2 ▲18.0%	69.7 21.0%
その他	3.7	7.1	+3.3 +90.2%	51.6 13.9%	12.2	11.9	▲0.2 ▲1.9%	47.6 25.2%
合計	213.2	112.1	▲101.1 ▲47.4%	707.1 15.9%	148.3	149.4	+1.0 +0.7%	649.2 23.0%

設備投資額

医療関連は大館工場で2023年に発生した火災における復旧工事の一部を計上し6.5億円、ニプロベトナムではダイアライザ関連の装置や建物工事に13.1億円、またNMCにおける透析センター内の装置や備品に6.4億円を投資し、全体としては64.0億円となったが、昨年度に大館工場や合肥工場にてダイアライザ関連の投資が完了したことで、前年対比では62.5億円減少。

医薬関連はニプロファーマ近江工場の一般製剤棟に14.9億円、伊勢工場の増設に2.8億円の投資等があったものの、昨年度は近江工場の拡張投資等があったことにより、前年対比では33.0億円減少。

ファーマパッケージングは、フランス工場の設備投資に3.7億円、ドイツ工場の能力増強に2.6億円、またアメリカ工場の改修投資に2.2億円等、合計11.3億円の投資を実施した一方で、昨年度はアメリカ工場の拡張投資等があったことにより、前年対比では8.9億円減少。

その他は、PCのリース一括更新費用等があり、前年対比で3.3億円増加。

減価償却費

医療関連は、大館工場における第7工場の新設により増加したものの、医薬関連におけるニプロファーマの機械装置に係る償却減、ファーマパッケージングにおけるフランスの減損損失もあり、減価償却費は前年並みに推移。

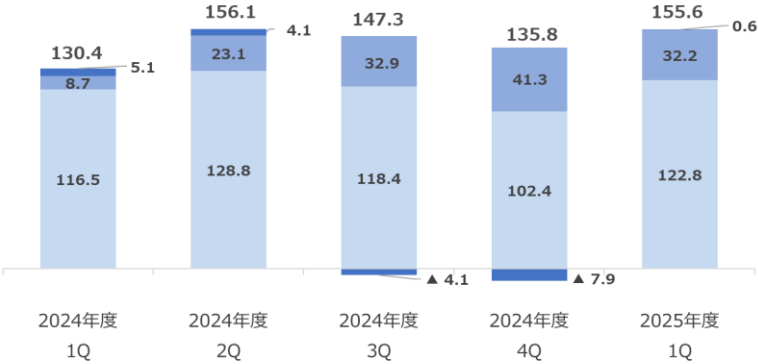
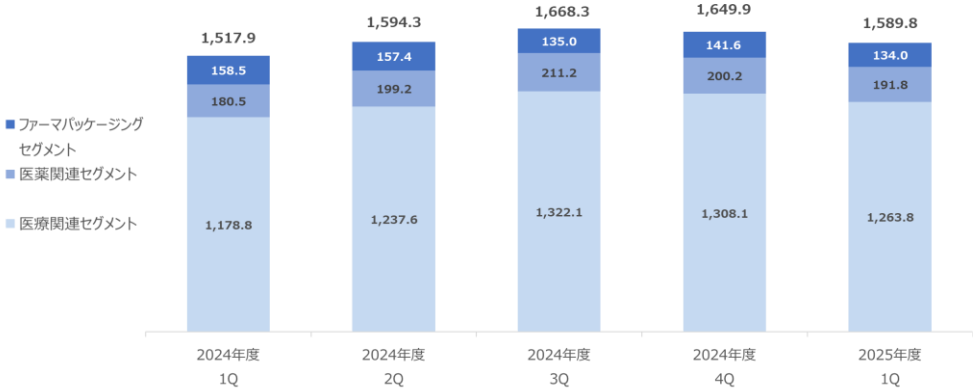
為替影響を除いた損益比較

	2024年度1Q	2025年度1Q	為替の影響 (※)	影響を除いた 2025年度	増減率
単位：億円	【a】	【b】	【c】	【d=b-c】	【d÷a】
売上高	1,519.8	1,592.2	▲5.1	1,597.3	+5.1%
売上原価	1,064.8	1,090.6	+6.2	1,084.4	
売上総利益	459.0	501.5	▲11.3	512.9	+11.7%
(%)	30.2%	31.5%		32.1%	
販管費	401.1	429.4	▲1.5	430.9	
営業利益	57.8	72.1	▲9.8	81.9	+41.6%
(%)	3.8%	4.5%		5.1%	
営業外収益	40.8	13.8		13.8	
営業外費用	34.5	50.8	+43.8	7.0	
経常利益	64.2	35.1	▲53.6	88.8	+38.3%
特別利益	0.4	41.8		41.8	
特別損失	3.4	0.8		0.8	
税引前利益	61.2	76.1	▲53.6	129.7	+111.9%
法人税等	31.0	38.0	▲26.8	64.8	
非支配株主に 帰属する純利益	3.9	5.3		5.3	
当期利益	26.2	32.7	▲26.8	59.5	+126.7%

※ 昨年レートとの差額で外貨取引合計を円換算。円貨取引における為替の影響は考慮していません。

セグメント売上高・セグメント利益

	セグメント売上高				セグメント利益			
	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (利益率)
単位：億円								
医療関連セグメント	1,178.8	1,263.8	+85.0 +7.2%	5,334.2 23.7%	116.5	122.8	+6.2 +5.4%	533.9 10.0%
医薬関連セグメント	180.5	191.8	+11.2 +6.2%	863.7 22.2%	8.7	32.2	+23.4 +268.6%	107.8 12.5%
ファーマパッケージングセグメント	158.5	134.0	▲24.4 ▲15.4%	568.0 23.6%	5.1	0.6	▲4.5 ▲88.2%	3.5 0.6%



- 医療関連セグメント

減価償却費や人件費、運送費が増加したものの、原材料費の上昇が抑制されたことや海外での医療機器販売が好調であったことから、事業全体ではセグメント利益は前年対比で6.2億円増加。
- 医薬関連セグメント

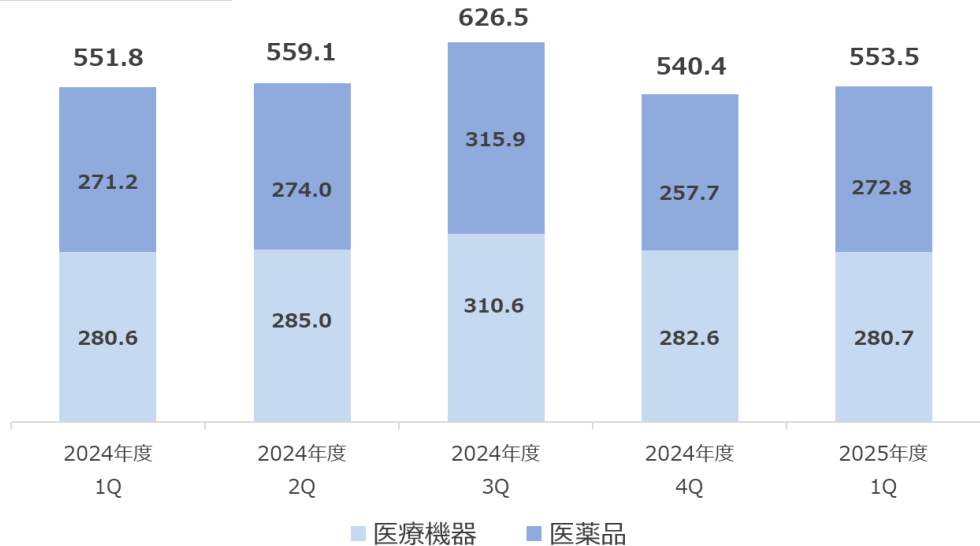
経口剤の新規受託品および、抗がん剤の出荷増加や、期首の在庫評価の見直しの影響もあり、セグメント利益は前年対比で23.4億円増加。
- ファーマパッケージングセグメント

売上減少により、セグメント利益は前年対比で4.5億円減少。

①医療関連セグメント（国内）売上高

売上高	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想
単位：億円				
国内事業	551.8	553.5	+1.6 +0.3%	2,439.8 22.7%
医療機器	280.6	280.7	+0.0 +0.0%	1,261.7 22.2%
医薬品	271.2	272.8	+1.5 +0.6%	1,178.1 23.2%

四半期別売上高推移



医療機器

ダイアライザはファインフラックスの限定出荷の影響により販売数量が減少し、前年対比で3.0億円減少。

透析機器では出荷量が減少したことによる影響で前年対比で4.3億円減少。

注射針類・輸液関連製品においては、価格転嫁を実施したことにより、注射針類では前年対比で3.2億円増加。輸液関連製品では前年対比で2.1億円増加。

バスキュラー関連製品は、昨年と同様に薬剤溶出バルーンの適応拡大により堅調に販売回復、また昨年より本格発売を開始したバルーンカテーテル製品が順調に推移し、売上は前年対比で1.4億円増加。

医薬品

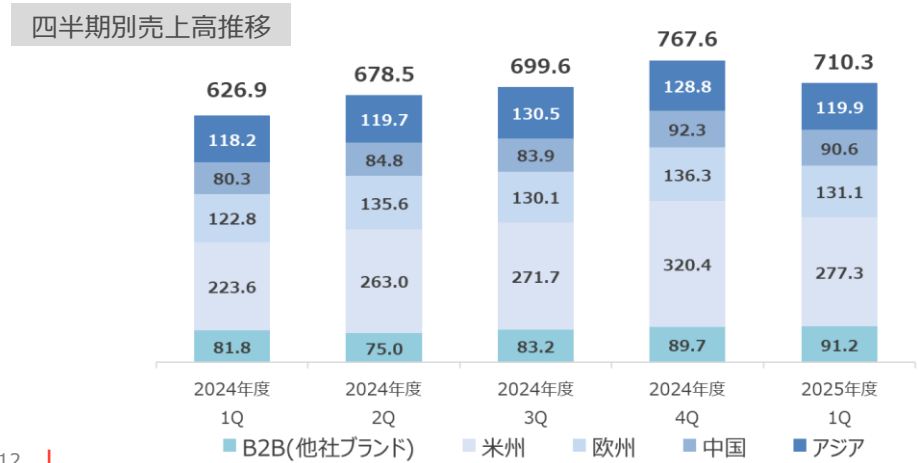
経口剤は、選定療養による後発品への切替が促進されたことにより販売数量は増加したものの、ネキシウムAGを含む薬価下落が引き続き影響し、前年対比で2.9億円減少。

注射剤・輸液は、がん化学療法による発熱性好中球減少症の発症を抑制するペグフィルグラスチムBSの出荷量が引き続き好調であることにより、前年対比で11.1億円増加。

外用剤・貼付剤は、ブデホル吸入粉末剤・ロキソプロフェンテープの出荷量が減少したことによる影響で、前年対比で6.2億円減少。

①医療関連セグメント（国際）売上高

売上高	2024年度	2025年度	増減額	2025年度
	1Q	1Q	(増減率)	通期予想
	単位：億円			
国際事業	626.9	710.3	+83.4 +13.3%	2,894.1 24.5%
B2B(他社ブランド)	81.8	91.2	+9.4 +11.5%	355.9 25.6%
ニプロブランド	545.1	619.1	+74.0 +13.6%	2,538.2 24.4%
米州	223.6	277.3	+53.7 +24.0%	1,060.1 26.2%
欧州	122.8	131.1	+8.2 +6.7%	562.1 23.3%
アジア	118.2	119.9	+1.7 +1.4%	536.2 22.4%
中国	80.3	90.6	+10.2 +12.8%	379.8 23.9%



B2B（他社ブランド）

欧州におけるGLP-1需要増に伴うインスリン針の販売好調、米州におけるセーフタッチPSVの販売好調等により、前年対比で9.4億円増加。

ニプロブランド

米州

ダイアライザや透析装置、注射剤・輸液は大型契約等により39.3億円増加したほか、透析センターの売上がグアテマラ、エクアドルでの患者数増加やペルーでの透析センター拡大に伴い好調、また、北米において、競合他社の供給不足により血液回路の需要が増加、セーフタッチPSVの販売も好調であったことから、米州全体では前年対比で53.7億円増加。

欧州

ダイアライザの需要増加に加え、バスキュラー関連製品の販売好調に伴い、欧州全体では前年対比で8.2億円増加。

アジア

インド、サウジアラビアの透析機器は昨年大型入札の反動により9.6億円減少。一方で、ダイアライザはサウジアラビア向け入札等の影響で5.1億円増加したほか、ベトナム・インドネシア・フィリピンで透析機器の需要が好調で4.2億円増加、タイでの透析センター拡大、マレーシアでの注射針類の需要増加等の影響を受け、アジア全体では前年対比で1.7億円増加。

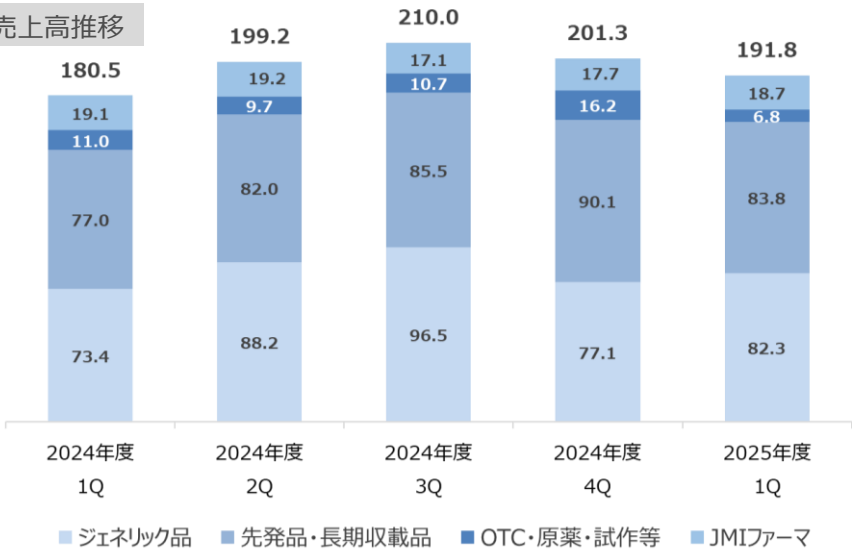
中国

ダイアライザは集中購買が開始され需要が回復したことに加え、透析センターの売上は患者数増加や透析センター拡大に伴い好調に推移し、中国全体では前年対比で10.2億円増加。

②医薬関連セグメント 売上高

売上高	2024年度	2025年度	増減額	2025年度
	1Q	1Q	(増減率)	通期予想
	単位：億円			(進捗率)
医薬関連事業	180.5	191.8	+11.2 +6.2%	863.7 22.2%
ジェネリック品	73.4	82.3	+8.9 +12.2%	318.7 25.9%
先発品・長期収載品	77.0	83.8	+6.8 +8.9%	430.6 19.5%
OTC・原薬・試作等	11.0	6.8	▲4.1 ▲37.9%	37.5 18.2%
JMIファーマ	19.1	18.7	▲0.3 ▲2.0%	76.9 24.4%

四半期別売上高推移



ジェネリック品

注射剤は、主力抗がん剤の受注増により、前年対比で13.1億円増加。

経口剤は、受注減により、前年対比で1.3億円減少。

外用剤は、受託終了品目の影響により、前年対比で2.9億円減少。

先発品・長期収載品

注射剤は、新規受託品の納入開始をはじめ、既存品目についても受注増。

加えて、価格転嫁の実施をおこない、前年対比で13.0億円増加。

経口剤は、選定療養制度の影響を受けた受注数減少により、前年対比で1.3億円減少。

外用剤は、受注減により、前年対比で4.9億円減少。

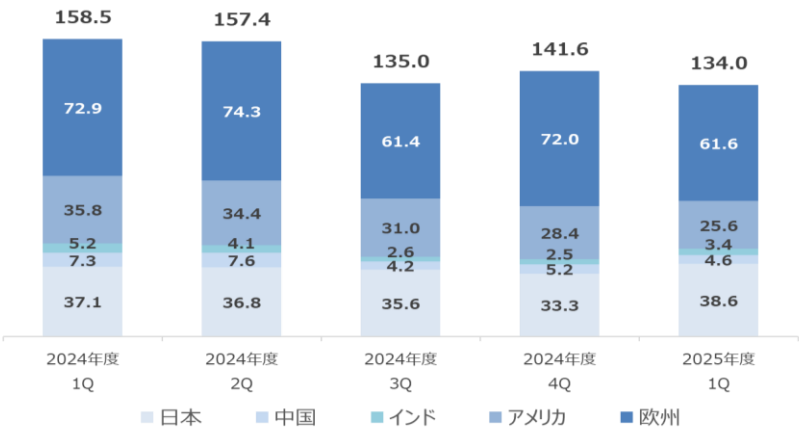
OTC・原薬・試作等

OTC外用剤の受託終了予定品の受注減等により前年対比で4.1億円減少。

③ファーマパッケージングセグメント 売上高

売上高	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額 (増減率)	2025年度 通期予想 (進捗率)
単位：億円				
ファーマパッケージング事業	158.5	134.0	▲24.4 ▲15.4%	567.9 23.6%
日本	37.1	38.6	+1.4 +4.0%	145.9 26.5%
海外	121.3	95.4	▲25.9 ▲21.4%	422.0 22.6%
欧州	72.9	61.6	▲11.3 ▲15.5%	286.5 21.5%
アメリカ	35.8	25.6	▲10.1 ▲28.4%	117.1 21.9%
中国	7.3	4.6	▲2.6 ▲36.5%	4.3 108.8%
インド	5.2	3.4	▲1.7 ▲33.3%	13.9 25.1%

四半期別売上高推移



日本

輸液関連製品およびバイアルは、2024年第4四半期中に出荷予定だった製品の出荷がずれ込んだ影響を受け、販売が増加。ガラス管は、2024年10月の価格改定後、一時的に売上が減少したものの、2025年以降に受注が回復傾向。全体では、前年対比で1.4億円増加。

海外

欧州

昨年度に好調であった滅菌済シリンジに関し、一時的な設備の事後保全を行った影響で販売が減少。また、新規参入企業の影響も受け、前年対比で11.3億円減少。

アメリカ

ガラス管は、シリンジ用の製品に関し、バイオ医薬品関連の需要が好調に推移し、前年対比で0.6億円増加。
バイアルは、世界的なガラス容器の在庫調整の影響を受け、前年対比で10.8億円減少。

セグメント別・製品群別の売上高

セグメント		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
製品	単位：億円					
医療機器	2025年度1Q	947.8	-	(※3) 11.9	-	959.8
	2024年度1Q	871.3	-	(※3) 11.5	-	882.8
医薬品	2025年度1Q (※1)	315.9 (※2)	191.8	1.8	-	509.6
	2024年度1Q (※1)	306.6 (※2)	180.5	1.3	-	488.4
ファーマパッケージング	2025年度1Q	-	-	119.9	-	119.9
	2024年度1Q	0.7	-	145.3	-	146.1
その他	2025年度1Q	0.0	-	0.2	2.3	2.7
	2024年度1Q	0.0	-	0.3	1.8	2.3
合計	2025年度1Q	1,263.8	191.8	134.0	2.3	1,592.2
	2024年度1Q	1,178.8	180.5	158.5	1.8	1,519.8

(※1) 自社ジェネリック医薬品
(※2) 受託製造医薬品
(※3) 注射針類、輸液関連製品、検査製品

セグメント別・地域別の売上高

セグメント		医療関連 事業	医薬関連 事業	ファーマパッケージング 事業	その他 事業	合計
地域	単位：億円					
日本	2025年度1Q	555.0	170.9	38.7	2.3	767.1
	2024年度1Q	552.1	159.9	37.2	1.8	751.2
海外計	2025年度1Q	708.8	20.9	95.3	0.0	825.0
	2024年度1Q	626.6	20.5	121.2	-	768.5
米州	2025年度1Q	305.9	-	25.3	0.0	331.3
	2024年度1Q	247.8	-	35.2	-	283.1
欧州	2025年度1Q	163.0	1.7	61.5	-	226.3
	2024年度1Q	151.5	0.6	72.0	-	224.2
中国	2025年度1Q	91.1	0.1	4.7	-	95.9
	2024年度1Q	82.0	0.1	7.3	-	89.5
その他アジア	2025年度1Q	148.6	19.0	3.7	-	171.4
	2024年度1Q	145.1	19.8	6.6	0.0	171.6
合計	2025年度1Q	1,263.8	191.8	134.0	2.3	1,592.2
	2024年度1Q	1,178.8	180.5	158.5	1.8	1,519.8

製品別売上高（1）

		全社				海外				日本			
		2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率
単位：億円													
〔医療機器〕	ダイアライザ	245.7	282.5	+36.8	+15.0%	189.5	229.3	+39.8	+21.0%	56.2	53.1	▲3.0	▲5.4%
	透析機器	72.9	72.0	▲0.9	▲1.2%	56.7	60.1	+3.3	+5.9%	16.2	11.9	▲4.2	▲26.4%
	その他透析関連	141.0	157.1	+16.1	+11.5%	120.1	135.8	+15.6	+13.0%	20.8	21.3	+0.5	+2.5%
	透析関連製品計	459.7	511.8	+52.0	+11.3%	366.4	425.3	+58.8	+16.1%	93.2	86.5	▲6.7	▲7.3%
	注射針類（※）	130.5	157.7	+27.1	+20.8%	86.2	108.1	+21.8	+25.4%	44.2	49.5	+5.2	+11.9%
	バスキュラー関連製品	83.1	87.3	+4.1	+5.0%	21.3	24.1	+2.8	+13.5%	61.8	63.1	+1.2	+2.1%
	輸液関連製品	57.3	59.7	+2.3	+4.2%	24.6	24.9	+0.2	+1.1%	32.7	34.8	+2.1	+6.5%
	検査製品（※）	29.8	18.3	▲11.4	▲38.4%	20.2	9.3	▲10.8	▲53.8%	9.6	9.0	▲0.5	▲6.1%
	糖尿病関連製品	30.0	32.2	+2.2	+7.3%	27.0	28.4	+1.4	+5.3%	3.0	3.8	+0.7	+25.7%
	SD関連製品	23.8	24.4	+0.6	+2.7%	5.0	6.3	+1.2	+25.6%	18.7	18.1	▲0.6	▲3.4%
	その他	66.9	66.6	▲0.3	▲0.5%	39.4	38.8	▲0.5	▲1.3%	27.5	27.7	+0.1	+0.7%
部 門 計		881.6	958.5	+76.8	+8.7%	590.4	665.6	+75.2	+12.7%	291.2	292.8	+1.6	+0.6%
〔医薬品(自社)〕	経口剤	119.8	117.1	▲2.6	▲2.2%	-	0.1	+0.1	-	119.8	117.0	▲2.8	▲2.4%
	注射剤・輸液	143.0	162.0	+18.9	+13.2%	34.4	42.3	+7.8	+22.8%	108.6	119.7	+11.1	+10.2%
	外用剤・貼付剤	18.1	11.8	▲6.2	▲34.5%	-	-	-	-	18.1	11.8	▲6.2	▲34.5%
	その他・体外診断薬 等	25.5	24.8	▲0.6	▲2.6%	0.9	0.6	▲0.2	▲26.6%	24.6	24.2	▲0.4	▲1.6%
	部 門 計	306.6	315.9	+9.3	+3.1%	35.4	43.1	+7.7	+21.9%	271.1	272.7	+1.6	+0.6%
〔再生医療〕	再生医療等製品	1.2	1.2	+0.0	+3.8%	-	-	-	-	1.2	1.2	+0.0	+3.8%

※当期より「検査製品」に含まれていた「採血針等」を「注射針類」に変更しています。

製品別売上高（2）

		全社				海外				日本			
単位：億円		2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率	2024年度 1Q	2025年度 1Q	増減額	増減率
〔医薬品(受託)〕	経口剤	66.4	63.2	▲3.2	▲4.8%	0.1	0.2	+0.0	+5.7%	66.2	63.0	▲3.2	▲4.9%
	注射剤・輸液	72.5	99.4	+26.8	+36.9%	0.9	1.4	+0.4	+45.0%	71.6	97.9	+26.3	+36.8%
	外用剤・貼付剤	18.0	7.4	▲10.5	▲58.7%	0.1	0.3	+0.1	+104.7%	17.8	7.1	▲10.7	▲60.1%
	その他・体外診断薬 等	5.7	4.8	▲0.8	▲14.8%	+0.1	0.2	+0.0	-	5.5	4.5	▲0.9	▲17.0%
	部 門 計	162.7	174.9	+12.1	+7.5%	1.4	2.1	+0.7	+47.3%	161.2	172.7	+11.4	+7.1%
〔医薬品(JMIP)〕	経口剤	18.9	18.5	▲0.4	▲2.2%	18.9	18.5	▲0.4	▲2.2%	-	-	-	-
	注射剤・輸液	0.1	0.1	+0.0	+27.1%	0.1	0.1	+0.0	+27.1%	-	-	-	-
	部 門 計	19.1	18.7	▲0.3	▲2.0%	19.1	18.7	▲0.3	▲2.0%	-	-	-	-
〔ファーマパッケージング〕	ガラス管関連	35.2	33.1	▲2.1	▲6.0%	29.1	26.2	▲2.9	▲10.0%	6.0	6.8	+0.7	+12.9%
	ガラス アンプル	23.4	18.4	▲5.0	▲21.3%	23.4	18.4	▲5.0	▲21.4%	0.0	0.0	+0.0	+4.4%
	ガラス バイアル	44.9	31.1	▲13.8	▲30.7%	39.4	24.6	▲14.8	▲37.6%	5.4	6.5	+1.0	+18.7%
	ガラス シリンジ	24.2	19.5	▲4.6	▲19.2%	24.1	19.4	▲4.6	▲19.3%	0.0	0.0	+0.0	+22.4%
	ゴム栓・栓体類	3.5	3.7	+0.1	+5.1%	-	0.0	+0.0	-	3.5	3.7	+0.1	+3.9%
	プラスチック容器	5.5	4.6	▲0.9	▲16.4%	0.0	-	+0.0	▲100.0%	5.5	4.6	▲0.9	▲16.4%
	魔法瓶	1.3	1.5	+0.1	+10.9%	-	-	-	-	1.3	1.5	+0.1	+10.9%
	その他	7.7	7.7	+0.0	+0.3%	5.6	6.3	+0.6	+11.7%	2.0	1.4	▲0.6	▲31.0%
	部 門 計	146.1	119.9	▲26.1	▲17.9%	121.8	95.1	▲26.7	▲21.9%	24.2	24.8	+0.5	+2.3%
〔その他〕	生産機械販売・不動産賃貸	2.3	2.7	+0.4	+18.6%	0.2	0.1	+0.0	▲22.0%	2.0	2.5	+0.4	+23.2%
連 結 合 計		1,519.8	1,592.1	+72.3	+4.8%	768.5	825.0	+56.5	+7.4%	751.2	767.0	+15.8	+2.1%

本資料における予測数値等の将来に関する記述は、当社が現時点で
入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいています。

実際の業績等は今後の様々な要因により、本資料の記載事項と大きく異なる可能性があります。



すべての
いのちに、
よろこびを。